

興正寺こうしやうじ

〔西本願寺の南に隣る〕本尊阿弥陀仏は安阿弥あんあみの作なり。当寺の初は宗祖親鸞しんらん聖人四十歳の時、山科やましなの郷中に

造営し、興正寺こうしやうじと名づけ、高弟真仏上人かうていしんぶつに附属し給へり。其後今比叡竹中庄ひえいしやうしるたに汁谷じゆたににうつし、後醍醐帝ごだいごていの御時仏光寺と改

む。〔委は卷首仏光寺の所にあり〕十四世経豪上人けんごう本願寺蓮如上人れんによを帰依し、仏光寺を出て新に一堂を建て、旧号を用

て興正寺こうしやうじと称す。〔十七世顕尊上人けんそんの在世永禄十二年に門跡号もんせきがうを賜、天正十九年此地にうつす〕